

おうちの図工室・美術室

新しい計測の方法

対象学年 中学校1年生～高校2年生

想定時間 最低2時間～

題材の内容（子どもたちへ語りかける言葉の例）

曖昧なことをはっきりとさせることは、文化を豊かにする一つの方法です。

「どっちが大きいか」をはっきりさせるために、定規や測る基準「メートル」が発明されました。「どっちが重たいか」をはっきりさせるためグラム、温度の高さは温度計、気圧の高さは気圧計、そして、時間は時計・・・世の中のことを知るために、さまざまな計測する道具が発明されました。しかし、まだ、人類には、測ることができないものがたくさん残されています。例えば、「人間関係での心の距離」や「今日の気分」なんて、体温計みたいにはかかれたら便利かもしれません。

「これからの人類に必要な」計測の道具があれば、どんな形でどのように使用して、どんな単位で数値にできるかなどを「取扱説明書（トリセツ）」として紹介してください。

- パソコンで作っても、画用紙や、コピー用紙に絵の具や、ペンで書いてもいいですね。どんな風に説明しても構いません。これからの人類に必要なであることがわかるよう説明して下さい。
- アイデアの段階の絵や文字もできればみせてください。皆さんがどのようにして「思いついたのか」も教えてください。
- この説明を読めば、誰でも「使えそう」と思えるようにトリセツを書いてください。
- 提出日は〇月〇日の登校日です。でも、早く先生に見てほしい人は、写真にとって、下のアドレスまで添付で提出してください。そのとき、別の用紙に書く文章は打ち込んでください。

ANCS としてのねらい

自己を深める

共感性

深く見つめる

社会への広まり

自己を深める

「曖昧なもの」、「漠然としたもの」を視覚化され、具体的になることで、誰かに伝えやすくなったり、解決しやすくなったりし、人間関係や自分の生き方、ものの概念が変化する実感をイメージすることが期待されます。また、明確にできないことを人類が共有しているからこそ、現在の生活や、人間関係、科学技術が成立していることへの実感も期待します。

深く見つめる

道具の使用する際の、人の動きや、行為に注目し、使いやすい形状を導きます。また、五感で複合的に感じたことを視覚化することで、感じること、考えることのプロセスを学びます。

三観点

知識・技能

読み手が使用しやすくなることを目的に、発想・構想したことを、用紙の上で整理、構成してかくことができる。

思考・判断・表現

人類に必要なこと、あったら便利なことを自分の生活の中からイメージすることができる。

主体的に学習に取り組む態度

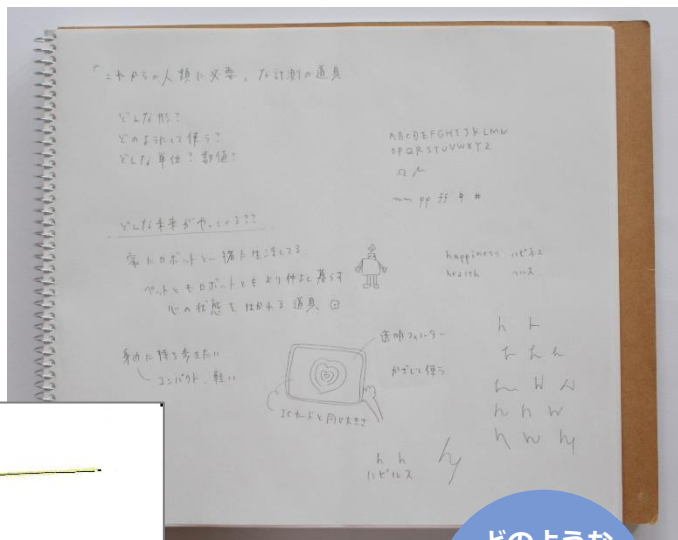
今の生活の便利なところ、わかりにくいところを考えて、文化や科学が担ってきた役割を考えようとする。

おうちの図工室・美術室

活動の足あと・子どものことば

使用した材料・道具

スケッチブック、コピー用紙、鉛筆、ボールペン、色鉛筆



取扱説明書

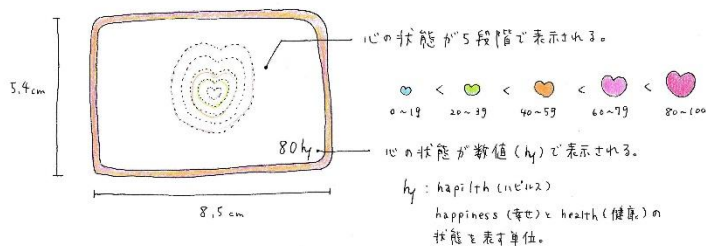
マインドフィルター

このたびは、マインドフィルターをお買い上げいただき、本当にありがとうございます。

* 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

道具の説明

マインドフィルターは、人間が感じにくいロボットやペット、植物などの心の状態をみるためのものです。



* 電源の「ON(入)」と「OFF(切)」について
かざすと自動でON(入)になり、かざしおろすと自動でOFF(切)になります。

使いかた

* 人間が感情を感じにくいロボットやペット、植物などにかざして使います。



保証

* 保証期間はお買い上げの日から1年間です。

どのような未来が待っているのだろう

ロボットなどの心の状態がみれる道具があったらな

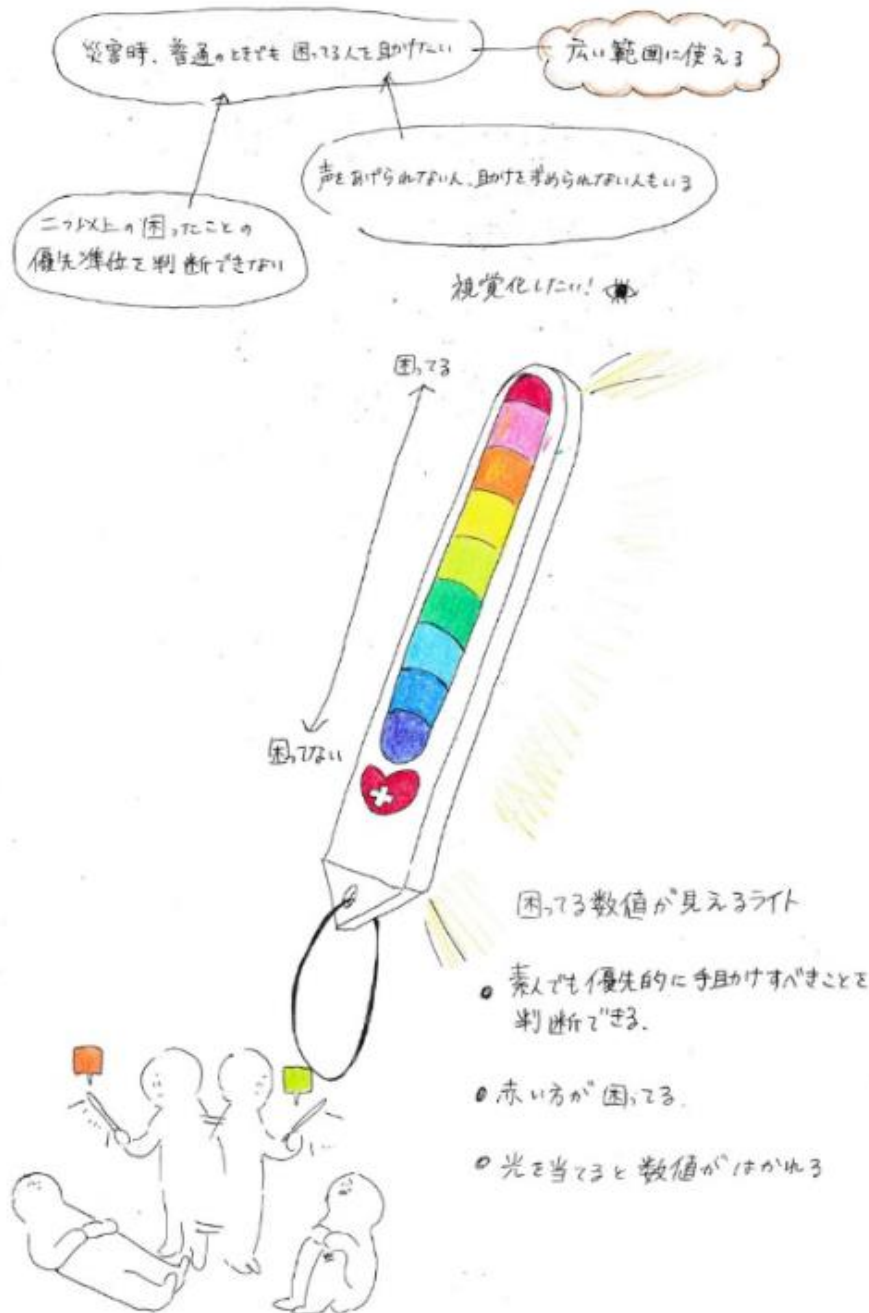
私たちの日々の健康や安全は単位や道具と関係がある

私は、ロボットと一緒に家で生活している未来を思い描きました。人間が読み取りにくいロボットなどの心の状態をみる道具があれば、ロボットも幸せに、そして健康と一緒に過ごすことができると考えました。大きさもICカードと同じ大きさで、とても軽いです。また、使い方もかざすだけでシンプルな構造です。なので、力の弱い人や子どもでも使いやすいと思います。

考えたり、つくったりしているなかで、今、存在している単位や道具を発明してくれた人のおかげで、健康に安全に過ごせているところがあるなと思いました。

「 マインドフィルターについて 」

おうちの日工室、美術室



困っている数値が見えるライトを考えました。災害時や、人がたくさんいる場面では困っている人がいても見つけづらいかもしれない、本当に困っていても声を上げられない人もいるかもしれないと思い、困っている数値が見えるようになったらいいなと考えました。このライトをかざすと、その人や、物の困っている度合いが、光って表されます。赤いほうがより困っている状況です。2つ以上の困ったことが起きたときに、素人でも優先的に手助けできる物事を判断しやすくなります。災害時にけがをした人を見つけたり、助け出すことの難しさを実感しました。この道具がなくても自分から困っている人を見つけてた受けられる人になりたいです。